

台風17号日本海通過も影響なく 厳粛、賑々しく挙行—秋之祖先霊大祭 ご教話「過去から未来に継ぐ私達の生命」



ご教話の本部長様

秋分の日、寶生教大阪本部の秋之祖先霊大祭にようこそご参拝下さいました。少し前に亡くなられた、政治評論家の三宅久之さんは、人生に大切な三つのものは、「愛妻、納税、墓参り」と常々仰っていたそうです。云うまでもなく今日は、各家の御祖先方に日々の御守護に感謝申し上げ、これからの将来に対する更なる御守護、御祖先方の幽界での弥栄を共に祈願する大切なお祭りの日です。私達の信仰する神道では、人は亡くなればそれぞれ別の氏名、家の守り神となります。今日、皆さんが心を込め



祖霊殿には種々のお供物

て上げられた祝詞、玉串、神饌、幣帛の一つ一つが御祖先方の幽界での活動の活力となるのです。そう考えますとまずは、いつも御守護下さる御祖先方の為にも、一人でも御家族皆さんで参列して頂いた方が良く、と云う事が理解頂けるでしょう。祀るべき御祖先が居られる、次の世代を嗣いでくれる子供達が居てくれる。これほど幸せな事はありませんよ。巷では、樹木葬とか、ペットと共に墓に入るだのと



発行所
寶生教大阪本部
大阪市西区北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
© (非売品)

10月号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より

自然界の理を守る

月並祭 (9月1日)

八月二十四日は寶生教大阪本部青年部発足七十年・常葉会・若葉会設立五十周年記念祝賀会を執り行われていただきました。七十の長い歴史は、諸先輩方が積み上げてこられた大きな功績です。「温故知新」故きを温ねて新しきを知る。教会青年部が若者にとって勉強の機会であり、人生

を歩んでいく上で、又、信仰を深く理解していただく上で、有益な組織である様に願って止みません。私共の青年部は教えの寶です。若い方々の信仰を上手に育てていく、これは、教信徒全員の使命でもございます。今後とも温かく青年部を見守っていただき、叱咤激

励していただき、皆さんと共に、次の世代の信仰者を増やしていきたいと存じます。さて九月一日は「防災の日」です。大正十二年九月一日に関東大震災が起き、大変な被害があり、多くの方々が命を落とされ、それからこの日が「防災の日」と認定されました。

か、訳の分からない個人葬をしきりと勧める霊園や、それに類する業者が勧めていますが、賢明な教徒の皆さんは、決して惑わされないうで下さい。私達一人一人が尊い神の分霊なのです。私達の生命は、人としての生命を次の世代につないでいく為に、今この瞬間を懸命に生きる為にこそあるのです。

これまでの生命と、これからの生命、それらをつないでいるのが今を生きる私達の生命です。はるか昔、神代の時代から連綿と続くこれらの生命の連鎖を肌で感じる機会が祖先祭なのです。

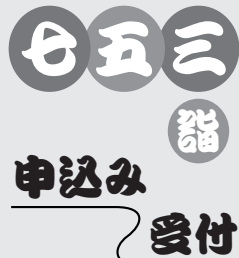
果たして前述の、祖先との縁を切ってしまう様な事が正しいのでしょうか。常々申しております様に、生命のつながりを確認し、御祖先の積まれた徳を後世に受け渡す、又、幽界での御祖先の活力を養う事が祖先祭の目的です。どうぞ、各家々の御祖先を大切にお守りになり、大いに御守護を受けられ、教信徒皆様の氏名の弥栄、自家成立、お一人一人の更なる活躍を心よりお祈り申し上げます。又、終わりになりましたが、数日来御奉仕頂きました、役員、有志の皆様へ心より御礼申し上げます。



参拝者各々、玉串奉奠

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動



三歳・五歳・七歳を無事に迎えられた喜びを大神様に感謝し、可愛いお子さんの健やかな成長と幸せを祈る、七五三参り。ご家族おそろいで、ご参拝ください。

十一月十日(日曜日)
午前十一時 執行
※七五三詣お申込みは、教会事務所へ、十一月一日までにお願ひします。

常葉会・若葉会設立の経緯、諸先輩方の取り組みなど、貴重なお話を伺うことができ、現役一同大変有意義な時間となりました。余興は現役一同による昭和・平成のヒット曲ダンスモデル。色とりどりの衣装に身を包み、懐かしの名曲でダンスを披露しました。宴もたけなわ、興奮未だ冷めやらぬ中、養老教会会長、古川修康様の方歳三唱により、祝賀会はお開きとなりました。会場外では、本部長様ご同伴のもと、現役一同にてご参会の教信徒お一人おひとりをお見送り。感謝の意をお伝えしました。権現家の皆様の熱きご指導と諸先輩方のためまぬ努力に改めて感謝申し上げますとともに、現役一同さらなる信仰と奉仕に励み、寶生教の益々の教勢拡充と、権現家ご一同様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 青年部部长 岸田浩暢



玄關先には名物「焼とり」も。中庭も大賑わい。



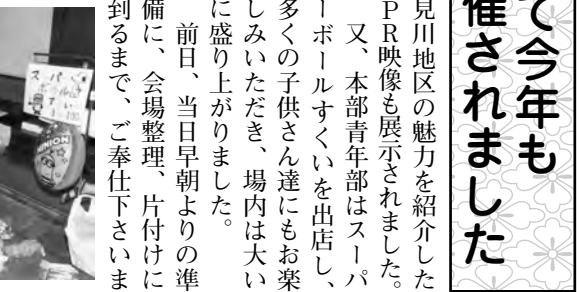
中庭も大賑わい。



スーパースクール(教会からも「お守り・おみくじ」) 参加

九月十五日(日)、七回目を迎える大阪市西区の町おこしイベント「にし恋マルシェ」が、本部境内に於いて賑々しく開催されました。今年も、本部教会境内と近隣公園が会場となり、「寶生教」と書かれたチラシ等が区役所内、町会看板や近隣店舗に掲出され、公共のラジオ番組でも「寶生教」の名が流れました。昨年同様、本部教会のお

見川地区の魅力を紹介したPR映像も展示されました。又、本部青年部はスーパースクールを出店し、多くの子供さん達にもお楽しみいただき、場内は大いに盛り上がりました。前日、当日早朝よりの準備に、会場整理、片付けに到るまで、ご奉仕下さいました役員、有志の皆様、又ご来場頂き盛り上げて下さいました信徒の皆様、心より感謝申し上げます。



修行殿内ではワークショップに映像と。

当教会が「ユメ会場」となって今年も『にし恋マルシェ』が開催されました

教会行事

十月一日(火)	月並祭	午後七時
六日(日)	御本宮秋之大祭	午前十一時半
八日(火)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(水)	修行日	午前十一時、午後七時
十日(木)	修行日	午前十一時
十一日(金)	教祖祭	午後七時
十二日(土)	大祭準備	午前九時
十三日(日)	秋之例大祭	午前十時半
二十日(日)	養老教会秋之大祭	午前十時半
二十五日(金)	修行日	午前十一時、午後七時
二十七日(日)	名古屋地区敬和会	午後七時
十一月一日(金)	月並祭	午前七時半
三日(祝)	西播教会秋之大祭 (開教会八十五周年記念)	午前十時半
御本宮月並祭	御本宮月並祭	午前十一時半
御本宮遙拝式	御本宮遙拝式	午前九時
修行日	修行日	午前十一時、午後七時
教祖祭	教祖祭	午後七時

青年部発足70年、常葉会・若葉会設立50周年 記念報告祭 並びに 祝賀会 盛大に開催

—支部教会長様に諸先輩方も多数— (8月24日)



本部教会で報告祭後、参拝者一同で記念写真。

暑さや穏やかな空の下、大阪本部青年部発足七十年、常葉会・若葉会設立五十周年祝賀報告祭を、本部長様祭主のもと、八月二十四日、厳粛に斎行いたしました。教父様ご夫妻をはじめ、西播、養老両教会長様ご夫妻、権現家ご家族様、ご親族、多くの教信徒の皆様のご参列のもと、ご丁寧な祝詞を賜りました。本部長様の玉串奉奠に参列者一同心を一つに列拝。節目の佳き日を迎えられることへの感謝を申し上げ、益々の発展を祈願いたしました。



祝辞の本部長様

祝賀会

青年部副部長鮫島典子の

青年部長、岸田氏の開会の辞

50周年記念

鮫島副部長のインタビューに答える小田井名誉総代

青年部長に激励の握手を送る木本名誉総代

祭典終了後、名古屋敬和会副代表、高木直治様のご奉仕により、本殿広間にて記念集合写真を撮影。大勢の皆様とともに皆様晴れやかな表情で撮影を終え、祝賀会会場リーガロイヤルホテルへ席を移しました。

青年部長、岸田氏の開会の辞

50周年記念

鮫島副部長のインタビューに答える小田井名誉総代

青年部長に激励の握手を送る木本名誉総代

平成七年一月十七日には、阪神淡路大震災が起き、大阪本部関係の方も大変大きな被害を受けられました。お蔭様で人的被害にあられた方は、おられませんでした。

平成二十三年三月十一日、東日本大震災が起きました。

特に地震は、避けることが難しいのです。ですから、そういう不測の事態に備えておき、自分の命を自分で守ることが大切なのです。天災とは少し話が変わりますが「京都アニメーション」の本社に火が放たれた多くの犠牲者が出ました。遺族の悲しみはあまりにも大きいと存じます。

そういった事件、事故、被害に遭われる方、又、命を落とされる方には何らかの巡り合わせがあるのだと思います。

その要因として考えられるのが名前や家相などの影響を受けるのかと言いますと、私達人間は、この自然界で生かされている一つの命にすぎません。

自然界の気の巡りの影響を受けてしまうのです。このようなことをしっかりと次の世代に伝えていか

ないとせつかく新しいお家を建てたのになんとか調子が悪いな、子供のために選んだ名前が思いがけず難しい運命を背負わずと云うことも起こり得るのです。

姓名学や家相学は一つの統計学です。

私共の寶生教ではそれらの過去の知識に加え、大神様にそれぞれ相談された方が幸せな人生を送れるかがご神宣して、更に大神様の祝福をそえて名前や家相をお答えさせて頂いています。神々の教えを忠実に守る。

だからそこに守護が生まれるのです。

神道の基本は神を敬い、祖先を敬い、自然を共生する。

そして、日本文化や日本人の大切さを守ることです。

そのさらに次の次元が、神宣・神託であり、それが霊感靈動を頂き、神様と直接繋がる事が出来るということなのです。

やはり、基本を押さえておかなければ、応用は利かないものです。

ですから、いつも信仰の

基本をしつかりと見つめ直す必要があるのです。

九月の秋分の日には私達の大御神の御霊大祭がございます。祖先祭は、御祖先のためだけにいうものではあります。

今を生きていく私達のため、次の世代を生きていく子供、孫達に命を繋いでいくためのものでもあります。

どうぞ御祖先のお徳を大いに受けて頂き、共に自家成立繁栄に励んでまいりたいと存じます。

酷暑の中ありがとうございました。

教会夏の掃除

連日の酷暑も和らぎ、朝食を頂き解散となりました。夕涼しくもなり始めた、八月二十五日(日)、恒例の夏の掃除が開始されました。

午前九時の朝拝後、御本殿、修行殿に、教務所や手水舎と各所に分かれ掃除。庭周りの草引きも。

例年より気温は低く感じられるものの、熱中症対策の水分補給は忘れずに、テキパキと怪我なく進み、予定通り午前中に終了。正午、昼



天井のすすも掃い落とします。

「温故知新」

当教会も公共性が増す

九月十五日には、にし恋馬ルシエ」が行われます。西区堀江の地域活性化を目的とし、堀江地域にお住まいの方々や仲睦まじく接していける地域にしたいという目的として始まりました。

堀江内で三方所の会場に分け、寶生教の境内も会場となり、今年で七回目となります。

今年、西区選出衆議院議員大西幸先生より、「寶生教境内のユメ会場」において、にし恋馬ルシエ第七回のご開催にあたり、御尽力下さいました皆様へ敬

意を表します。

堀江の町がマルシエとアートで一つになるユニークな企画を楽しみ、子供から大人まで笑顔溢れるひと時をお過ごし下さい。

御参集皆様の御健勝御多幸を御祈念申し上げます。

衆議院議員大西幸先生とこのように祝辞を送って下

祭 祖祭 (9月9日)

生教がようやく公益性、公共性を持ち得てきたということなのです。

従来教会は信徒さんの為に存在していましたが、皆さんの信仰の賜物であり、先輩方が残して頂きました教会の姿が、地域の方々にとっては、寶生教は地域の為に大きく貢献してくるという認識を得る事が出来た結果だと大変嬉しく思う次第です。

九月二十三日は秋季祖先大祭です。

人間の魂は、神の分霊(たまご)です。だから、人間として命

を頂き寿命を全うし、その後亡くなり百年後再び神の列に還るといふことなのです。だから、日本は祖先祭を行うのです。

この様に、日本人が古くから言い伝えてきた、目には見えない知識や知恵の集まりが、私達が信仰している神道なのです。

神道を信仰する、又、寶生教を信仰するという事は、決して自分自身の為だけに過ぎません。

信仰することで、巡り巡り多くの方々の人助けになるということでもあり、そしてそこに徳が生まれるのです。

最後に一つ明治天皇の御

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日

午前十一時半より

スクリーンには懐かしい歴史的写真